

平山郁夫シルクロード美術館 News

The Hirayama Ikuo

Silk Road Museum

News

No. 19

平成26年12月発行



布
夫
画
廊

平山郁夫《コリントの遺跡》

1978年 紙本彩色（50号）90.9×116.7 cm

平山郁夫は、昭和51（1976）年から翌年にかけて、中近東5カ国で個展「平山郁夫 THE SILKROAD 展」を行い、翌年2月に会場のダマスカスからギリシアへ写生旅行に出掛けている。平山はこの旅で、アテネからコリント、ミケーネ、オリンピア、クレタ島、ベラ（アレクサンドロス大王の生まれた町）などをまわり、「アレクサンダーの道をたどってきた私にとって、ギリシアはその仕上げとも言うべき地であった」と語っている。

アテネから西におよそ80kmにあるコリントは、ギリシア本土とペロポネソス半島をつなぐ地峡にある港湾都市であり、古代より交易の要衝として繁栄した。ここに描かれたコリントのアポロン神殿の遺跡は、前6世紀中頃に建造されたギリシアでも最も古いギリシア神殿の一つであり、コリントのシンボル的存在である。石灰岩できだりス式円柱は高さ約7m、最大径1.8mという巨大なもので、その重厚な雰囲気はアルカイック時代のギリシア神殿の特徴をよく示している。



平山郁夫シルクロード美術館

展覧会紹介

The Hirayama Ikuo Silk Road Museum
Exhibition

開館10周年記念特別展 第2弾

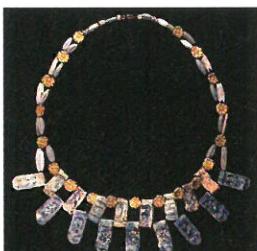
いにしえの煌き —シルクロードの装身具たち—

2014年10月11日(土)～2015年3月16日(月)

2004年7月にオープンした当館は今年開館10周年を迎えました。当館の開館10周年記念特別展第2弾「いにしえの煌き—シルクロードの装身具たち—」では当館が世界に誇るシルクロード・コレクションより選りすぐりの金工品やガラス、ジュエリーなど、当時のシルクロードの王侯や貴人たちの身を飾っていた、装身具をご紹介しております。今年6月、世界文化遺産に登録されたシルクロードは、さまざまな人々や文物が往き交い、東西の文明が交流した道でした。シルクロード沿道の多様な文化の煌めきを、いにしえの装身具と平山郁夫の絵画でたどっております。(表紙の絵《コリントの遺跡》も同展にて公開)



垂飾 1-3世紀 パキスタン



ビーズ装身具 前14-12世紀
ギリシア、エーゲ海域



平山郁夫《敦煌莫高窟 第57窟 菩薩像》1999(平成11)年



首飾り 前14-13世紀 北メソポタミア

Information

- ◆会期 2014年10月11日(土)～2015年3月16日(月)
※火曜日休館
- ◆開館時間 午前10時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- ◆観覧料 一般1200円／高・大学生800円／小・中学生無料
※障害者手帳をお持ちの方無料、介護の方1名まで600円
※70歳以上の方、20名様以上の団体 各100円割引
- ◆主催 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館
- ◆後援 山梨県、山梨県教育委員会、北杜市、北杜市教育委員会、
山梨日日新聞社・山梨放送、信濃毎日新聞社、八ヶ岳ジャーナル、NHK甲府放送局、テレビ山梨、FM富士、FM八ヶ岳
- ◆特別協力 山梨ジュエリーミュージアム
- ◆協賛 キリンビール株式会社

次回予告

絹でつなぐシルクロード 染織コレクション名品展

2015年3月21日(土)～6月22日(月)

2015年6月、「シルクロード」は、世界文化遺産に認定1周年を迎えます。シルクロードは、中国の絹織物を東から西に運んだ交易ルートで、西のローマから東の長安、さらにはわが国まで、さまざまな民族の文化や芸術の交流を促しました。本展では、当館のコレクションの中から、シルクロード各地（中国、中央アジア、アフガニスタン、インド、トルコなど）の選りすぐりの絹織物や染織品を、シルクロード沿いの遺跡を描いた平山郁夫の絵画と共にご紹介いたします。きらびやかなシルクロードの手技（てわざ）の粹をぜひご堪能下さい。



赤地双鶴連珠文錦 7-8世紀 中央アジア

第6回・7回平山郁夫絵画教室開催

●地元中学校にて絵画教室を開催

2009年、平山郁夫が講師となり、小学生を対象に「絵を描く楽しさを伝えたい」をテーマに「第1回平山郁夫絵画教室」を開催。翌年からは、北杜市と東京藝術大学の連携協定のもと、東京藝術大学の講師をお招きして授業を行い、今年は中学校2校を対象に実施しました。

①第6回：須玉中学校2年生45名

実施日：9月29日(月) 3-4、5-6校時

②第7回：明野中学校3年生41名

実施日：10月9日(木) 5-6校時

◆主催：公益財団法人 平山郁夫シルクロード美術館

◆協力：北杜市、北杜市教育委員会、

東京藝術大学社会連携センター

◆講師：平諭一郎先生（東京藝術大学大学院美術研究助手）

今回は、事前に子ども達から「大好きな場面を撮影した写真」を東京藝術大学へ提出してもらい、西嶋和紙へモノクロ印刷した後に、キャンバスへ貼り付ける準備をしました。

授業は3つの構成に分けた形で実施。まずは、古画（文化財複製特許技術を用いた高精細複製画）を鑑賞し、実際に手で触ることで文化財を身近に感じてもらう時間を設けました。その後、事前に用意したキャンバスに子ども達が持っている水彩絵具で色付けをし、日本画の粒子感のある下地に彩色する難しさを学んでもらいました。最後に、日本画特有の「岩絵具（新岩）」を、実際に溶く作業や「膠（にかわ）」と混ぜる作業を体験し、平山画伯と同じ絵具で色彩する作業を学びました。

2校とも生徒自らが休み時間を取りながら作業を続け、学校の授業では学ぶことのできない日本文化を体験できた時間となりました。



※完成した作品は、11月12日(水)～2015年3月16日(月)まで平山郁夫シルクロード美術館2Fラウンジにて展示しております。

AED導入と訓練の実施

美術館では、職員、アルバイト、ボランティアスタッフで、年1回、防災訓練を行っています。今年は、館内へのAED（自動体外式除細動器）設置に伴い、その使い方を勉強しました。まずビデオで、AEDの必要性などを学び、その後倒れた人に応急処置をする人、救急車を手配する人、AEDをもつくる人と役割分担をしながらの実地訓練をしました。いざという時、如何にあわてずに行動できるかが大事だと実感しました。また、地元小荒間地区の皆様にも、AED設置のお知らせを回観し、緊急時にはご使用いただけるようにしました。



身を守る シルクロードのお守りたちに感謝!

平山郁夫シルクロード美術館館長

平山美知子

今から約20年前の事です。私は山梨には全く友人もいなかったのですが、JR小海線の甲斐小泉駅前をたまたま通りかかった時、そこに小さなログハウスが売りに出ていたのです。その日は天気もよく、八ヶ岳の南面で標高1000メートル、空気も澄んでいて、富士山も見えて私はすっかり気に入りました。その当時で20年前になくなった松山の兄が中興電気株式会社の社長の時、ここが気に入り、小さな社員寮を作りました。平山と私は夏・冬の休みは殆どシルクロード旅行に出ていたので、兄は留

守番の私達の子ども達を休みの時その社員寮に連れて行ってくれました。甲斐小泉の名前は聞いていても、一度も来た事はありませんでしたが、その時何か…兄が呼んでくれた様にも思ったのです。鎌倉の家は狭いし、シルクロード研究所が出来ていても収集した仏像などをゆっくり見る余裕はないのでどこか広いところがないかとずっと心にかかっていた事もあって、甲斐小泉は絶好の場所でもあったのです。

1996年9月2日、隣の長野県・信州高遠美術館で「平山郁夫展」が開かれ、松沢昭史先生と知り合ひ、山梨の事もよく分かっておられるのでいろいろ助言を頂きました。長坂町の小澤町長にもお目にかかり、何もわからぬ私にいろいろな事を教えていただきました。先づ隣接地を購入し収蔵庫をつくるつもりでしたが、鎌倉の平山家を建築した水沢工務店の創立が甲府なので建築を頼むと、小さいながらもしっかりした建物が出来て「小美術館」となり、シルクロードの布など展示する事も出来ました。美術館を維持するにはショップが必要です。「他所には無い何かを」と思ひました。

平山と私が歩いた国は、印度、パキスタン、アフガニスタン、中国、イラン、イラク、シリアといったシルクロードの国々です。そこは数千年も前から戦ひによって国の興亡がくりかえされた戦場のあとを旅行していたので、それぞれの文化の違いを見たり知るこ



とが出来ました。その様なところを旅行する絵描きは少ないので、平山に「絵の素材になるから」と何人もの西洋骨董商や、登山やトレッキングでその地を知っている若者達が次々と我が家を訪れたものです。私達は数百年とか数千年前のシルクロードに関するものといふと大いに興味をもったものです。小さいもので素晴らしかったのは、パルティア、バクトリア、ササンの印章や貴石の断片に細工をしたものですが、これは数少ないガラスで代用する様になったのでしょうか。中国の前500年頃の戦国といわれる時代に作られた鉛を含んだガラス玉は戦乱の中で身や

家族を守る願ひをこめて、よけいに美しく作られたと思はれます。私がショップの為に何かを作ろうと思ったのは、私達が日本の神社やお寺へおまいりをすると必ずといってよい程、家内安全、身体健全などのお守りを買ひます。それと同じように我が身や家族を守る為の印に、シルクロードで集めた印章や貴石、ガラスでお守りとなる様なネックレスを作ろうと思ひました。けれども、こんな事は誰も教えてくれません。数年前、山田礼子先生、川喜田先生に彫金を習った事があるので、思ひつきで作り始めました。それから17年がたちます。よい材料は少なくなり、私も年をとり、上手になったとは思えません。ですが、疲れた時にガラスビーズ、印章を手にとると「また何かしようか」といふ気持ちになるのです。私がこれらに救(たす)けられているのかもしれません。



◆ワイン&クラフトフェスタの報告

日時:10月4日(土)- 5日(日) 各日10:00~16:00

場所:らくだ公園(美術館屋上公園)

昨年に引き続き、第2回目となる「ワイン&クラフトフェスタ2014」を開催しました。今年は文化庁の補助金「平成26年度文化庁地域と共に働く美術館・歴史博物館創造活動支援事業」を受け、より充実した内容となりました。会場には、9店舗の飲食と13店舗のクラフトの出店があり、日曜日はあいにくの天候の中ではありましたが、延べ約420名の来訪者で賑わいました。お楽しみ企画の一つ「シルクロードワインの飲み比べ」では、「ギリシア」、「イスラエル」、「グルジア」、「中国」のテイスティングを行い、文化の違いを楽しんで頂けたのではないかと思います。



ワイン&クラフトフェスタ 関連企画の様子



講演会
館蔵コレクションに見る
「ガンダーラ美術とシルクロードの文化」
日時:10月4日(土) 14:00~15:00
場所:2Fラウンジ
講師:田辺勝美(元中央大学教授)

フェスタ初日には、元中央大学教授の田辺勝美先生に講演会を開催して頂きました。平山夫妻が美術品を蒐集する相談役の一人として活動されてきた先生の講義は、1968年から始まった平山夫妻のシルクロード紀行を、より解りやすく、より面白みのある話へと繋げて下さいました。



揚琴演奏会
～シルクロードの夢～
日時:2014年10月5日(日)
第I部13:00~/第II部15:00~
場所:展示室6

フェスタ2日目には、展覧会を記念したコンサートを実施しました。平山画伯が描いた「大シルクロードシリーズ」の中、中国出身の張林(チャン・リン)様に、中國伝統楽器「揚琴(ようきん)」を演奏して頂きました。時間を分けた2部構成で行い、演奏曲を変えたことで、よりお客様に楽しんで頂けたのではないでしょうか。



ミニライブコンサート
～ダンディーズ・スイング・オーケストラ～
フェスタ2日目には、美術館2階ラウンジを開放し、地元北杜市小淵沢町を拠点に活動しているジャズのビッグバン

ド「ダンディーズ・スイング・オーケストラ」の皆様に演奏して頂きました。16名による迫力ある音は、館内外に響き渡りお祭りを盛り上げてくれました。



T-シャツワークショップ
～美術館のロゴTシャツをつくってみませんか?～
日時:10月5日(日) 10:00~12:00
場所:体験工房

フェスタ来訪者に楽しんで頂く為に、シルクスクリーンを用いたTシャツ作りのワークショップを開催しました。シルクロードの東西交流の主役を演じたソグド民族の錦の文様に基づいて制作した当館のロゴを、孔版画の技法の一種であるシルクスクリーンでプリントする作業は、簡単なように見えて中々うまく出来ず、一喜一憂する声が上がっていました。

美術館スタッフ研修旅行

○2014年10月28日(火)

○参加：26名

○見学場所：名都美術館
徳川美術館

10月28日当美術館の研修旅行はお天気に恵まれ、名古屋名都美術館へ。白壁の美しい建物で、館内に入ると枯山水の庭園が美しく目に入りました。館内では、瀬戸田の平山郁夫美術館の平山館長、当館の平山館長、井出館長代理、平山学芸室長も一緒に観覧することができ、楽しい一時でした。平山先生のまだ目にしたことのない画や再会した画もあり、嬉しかったり、懐かしかったり。。。『ボタラ宮殿・チベット中国』は大下図と本画と一緒に並んで展示されていて、先生の線画の細やかさにあらためて感動しました。

豆腐懐石のお昼をいただいて、徳川美術館での「復刻・やまと絵」展に。尾張徳川家に伝えられた家康の遺品や尾張家歴代とその家族が実際に使用した品々の展示。とても興味

深く、また平安時代の煌びやかさにひたって時間の過ぎるのを忘れてしまいました。残念ながら時間がなく庭園を拝見する事ができませんでしたが、有意義で楽しい一日でした。



来館者アンケートで いただいた感想をご紹介

当館では美術館の向上を目的として、来館者アンケートを実施しています。その中で嬉しい感想を頂きましたので、抜粋し、ご紹介します。

アフガニスタンの人々のスケッチを見ているうちに涙が出てきました。最後の(ラクダのキャラバンなど)部屋の展示にも圧倒され、画伯の人類の文化遺産を保護する活動、平和への想いに共感しました。 70代・女性(石川県)

10周年おめでとうございます。10年前の7月18日にここを訪れて平山先生にお会いした日をなつかしく思い出しました。毎年ここをみては(訪れて)ホッと心を癒やしています。先生の作品は心があたたかくなります。 50・60代のご夫婦(愛知県)

この地にこんな素晴らしい美術館があることはこの地に関わりのある人たち(私もですが)の誇りだと思います。

60代・男性(北杜市)

平山郁夫氏の絵は大好きで、佐久市(長野県)の近代美術館へも行ってきました。シルクロードの絵は、大変歴史を探る上でも貴重な財産であろうと思います。

八ヶ岳山麓の自然の中に恵まれた素晴らしい環境の美術館だと思います。充実した展示であり、時間があつという間に過ぎ、満足でした。 60代男性(長野県)

当館の創設に深く敬意と感謝を申し上げます。

「ルルド・祈りの行進」をはじめ、一つ一つの芸術作品に感銘を受け、地球、世界の平和・平安・公正な再建・最盛の祈りがこの地から深く広げられんことを切に祈るものであります。合掌!!
80歳以上男性(兵庫県)

静かでとても良い雰囲気で見ることができました。前から寄ってみたいと思っていました。シルクロードコレクション、初めて本物を見ることができました。ありがとうございました。

60代女性(東京都)

○ワークショップ



7月21日(月・海の日)
甲府アメッセ・夏休み自由研究プロジェクト
「シルクロードのストラップ&うちわ作り」
講師:ボランティアスタッフ3名
美術館スタッフ1名
参加者:小中学生85名



7月26日(土)
「浮き書ワークショップ」(一般向け)
講師:一瀬宏一
参加者: 11名



8月24日(日)
「鉄のワークショップ」(青少年向け)
講師:上野玄起(鉄の造形スタジオ)
参加者:9名



10月12日(日)
鍛金ワークショップ(青少年向け)
「真鍮でモノ作り体験」
講師:細谷 隆(銀のスプーン工房ほそや)
参加者: 10名



11月1日(土)
硝子ワークショップ(一般向け)
「小枝模様のペンダント作り」
講師:七尾裕子(アトリエLAMP・YA)
参加者: 7名

○オープニング



6月28日(土)
「平山郁夫シルクロード紀行—ガンダーラ、アフガニスタン、そして文化財保護活動—」展オープニング



6月28日(土)
第5回絵手紙コンテストの受賞式を執り行いました。
平山美知子館長による賞状の授与と、優秀作品の講評を実施しました。今後も多くの方々のご参加をお待ちしております。



7月12日(土)
「平山郁夫と文化財保護活動の現状」
パネリスト:前田耕作、宮治昭、後藤多聞
参加者:108名

○講演会



11月1日(土)
「いにしえの煌き」展関連講演会
「古代オリエント世界の装身具」
講師:宮下佐江子
参加者:45名

○スクールプログラム

10月15日北杜市立白州中学校 1年 27名
(展覧会見学)

開館カレンダー

1 January							2 February							3 March						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31								29	30	31				

4 April							5 May							6 June						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4				1	2			1	2	3	4	5	6	
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30			24	25	26	27	28	29	30	28	29	30				

3/21～6/22 絹でつなぐシルクロード 染織コレクション名品展

6/26～10/26 平山郁夫シルクロード紀行II－西アジアと絲綢の路－展

※1月1日(元日)より営業

※3/17～3/20、6/23～6/25は展示替えのため休館

※5/5子どもの日は祝日のため開館

●…は閉館日です

賛助会 だより

賛助会会員募集

賛助会は美術館の活動を支援するとともに、会員の皆様の交流をはかることを目的として発足いたしました。皆様から寄せられました会費は、展覧会の開催、講演会・講座の開催、国際交流、美術館の維持管理などに使用されます。賛助会員にはさまざまな特典(詳しくは美術館HPをご覧ください)のほか、交歓会等イベントも予定しております。皆様のご入会を心よりお待ち申し上げております。

◆会 費 個人会員…… 10,000円
家族会員…… 15,000円
法人会員…… 100,000円

◆受付期間 随時受け付け(毎年7月に更新。12～3月までにご入会の方は初年度の年会費は半額、4～6月ご入会の方は翌年6月末日まで有効)。

◆申込方法 申込用紙に必要事項をご記入のうえ美術館にご郵送いただき、所定の銀行口座に会費をお振り込みください。申込用紙ご希望の方は、美術館HPからダウンロードするか、美術館にご請求ください。

お知らせ

北杜市市民 栄誉賞受賞

このたび、平山郁夫シルクロード美術館は、北杜市の文化・芸術の振興に寄与した活動を評価して頂き、市制施行10周年記念式典の場において「北杜市市民栄誉賞」を受賞しました。大変名誉な賞を、開館10周年の節目に頂けたことを嬉しく思います。今後も市民栄誉賞の名に恥じないよう諸活動に努めて参ります。



平山郁夫シルクロード美術館ニュース 第19号 平成26年12月発行

発行 公益財団法人平山郁夫シルクロード美術館

〒408-0031 山梨県北杜市長坂町小荒間2000-6 Tel 0551-32-0225

URL <http://www.silkroad-museum.jp>